

松本人志 監督作品

さや
30日間の戦いー。

監督・脚本:松本人志

野見隆明 熊田聖亞 板尾創路 柄本時生 / りょう ROLLY 腹筋善之介

清水格馬 竹原和生 / 伊武雅刀 / 國村隼

脚本協力:高須光聖 板尾創路 長谷川朝二 江開浩司 倉本美津留 アソシエイトプロデューサー:小西啓介 仲良平
制作プロダクション:よしもとクリエイティブエージェンシー フィルム・フィルム プロデューサー:岡本昭彦 配給統括:野田助嗣
製作総指揮:白岩久弥 製作代表:大崎洋 梶本善紀 配給:松竹 製作:吉本興業株式会社 京楽産業株式会社
2011年カラー/ビスタ/ドルビーデジタル/103分 ©2011『さや侍』製作委員会 www.sayazamurai.com

6.11 全国公開



一日一芸で三十日間かけて笑わせることができれば、無罪放免。できなければ、切腹。 さや 鞘しか持たない侍・野見勘十郎と娘・たえの命を懸けた戦いの幕が開く。



あることがきっかけで、自ら侍として戦うことを拒絶し、刀を捨てた野見勘十郎。そんな父を軽蔑し反発する娘たえ。二人は行くあてもなく、流浪の旅を続けていた。そして無断で脱藩した罪に問われていた勘十郎には懸賞金が掛けられていた。次第に追い詰められた勘十郎は遂に捕らわれるのだが、捕まつた藩の殿様は相当な変わり者として世に名を馳せていた。

殿様の眼前に連行された勘十郎は、《三十日の業》に処される。その業とは「母君を亡くした悲しみで全く笑わなくなってしまった若君の笑顔を三十日間かけて取り戻せ」というものであった。そして、もしそれに成功すれば無罪放免、失敗すれば即、切腹になると言う…。



“笑い”と“哀しみ”を紙一重に描き、やがて訪れる心搖さぶる結末へー。



「大日本人」、「しんぼる」と、その独創的な作風で世間を驚かせ、国内にとどまらず、海外でも高い評価を受けた松本人志監督。第3作目にあたる本作でも完全オリジナルストーリーで時代劇に挑戦。鞘(さや)しか持たない侍・勘十郎とその娘・たえ”が挑む【三十日間の戦い】を通じ、松本監督独自の方法論で親子の葛藤と絆を描く。奇想天外な設定とオリジナリティ溢れる物語、そして心搖さぶるラストまで、今までにない新しい時代劇の誕生だ。

監督・脚本: 松本人志 野見隆明 熊田聖亞 板尾創路 柄本時生 / りょう ROLLY 腹筋善之介
清水恵馬 竹原和生 / 伊武雅刀 / 國村隼

脚本協力: 高須光聖 板尾創路 長谷川朝二 江間浩司 飯本美津留 アシスタントプロデューサー: 小西啓介 仲良平 ラインプロデューサー: 原田雅弘 鍛田賛一
音楽: 清水謙晃 演出: 藤原研介 助監督: 吉村昌亮 撮影: 近藤龍人 照明: 藤井勇 美術デザイナー: 愛申悦子 美術制作: 装飾: 茂木豊 録音: 関本立洋 記録: 山本亜子
編集: 本田吉孝 衣装デザイン: 宮本まさ江 衣装: 本間邦仁 ヘアメイク: 麻川京子 音楽プロデューサー: 日下好美 リレコーディングミキサー: 松藤忠治 C.A.S.
サウンドエディター: 勝俣まさとし VFX & スペシャルエフェクト: 長谷川靖 キャスティングプロデューサー: 元川益輔 アシスタントプロデューサー: 松川剛
制作担当: 斎藤健志 佐藤幹也 制作プロダクション: よしもとクリエイティブエージェンシー ファントム・フィルム プロデューサー: 関本昭彦 配給統括: 野田助嗣
製作総指揮: 白石久弥 製作代表: 大崎洋 横本善紀 製作: 吉本興業株式会社 京楽産業・株式会社

2011年 / カラー / ビスタ / ドルビーデジタル / 103分 ©2011『さや侍』製作委員会

www.sayazamurai.com

さや侍



6月11日(金)全国ロードショー

「さや侍」特製音声ストラップ付特別鑑賞券発売中！

一般 1,300円 親子券 2,000円

※販売劇場はオフィシャルHPをご確認ください。※特典には数に限りがあります。